



民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
TEL 03-3595-9988 (代表)
民主党埼玉県連広報局
さいたま市浦和区高砂3-6-16
TEL 048-833-3500 FAX 048-833-3503
URL <http://minshu.org> E-mail info@minshu.org

埼玉県(第1区版)
平成27年9月19日発行

衆議院議員 たけまさ公一 国会レポート 第182号 地域ニュース

■民主党台風18号災害対策本部設置(9月10日)

台風18号の被害は県内、さいたま市内でも床上床下浸水をはじめ大きな被害が出ました。被害を受けた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

特に、栃木県、茨城県に大きな被害があったことを含め、今後、地球環境の変化もあり同じような帯状の断続的積乱雲の発生による「局地的に雷や突風を伴う降雨」が関東地域でもおこりうる可能性への対策は、一昨年緑区から越谷市にかけて起きた竜巻が「スーパーセル積乱雲」発生が原因であったことなど、ヒートアイランド対策とともに県市はもとよりですが「9都県市首脳会議(首都圏サミット)」そして「国」としての取り組みも求めています。

民主党も被害当日に党本部、県連で対策本部を立ち上げ、武正議員も9月12日越谷市を訪れ現地で話を伺い、9月16日党本部9月19日県連本部で報告する等取り組んでいます。



9月22日 常総市水害被害視察へ



産経新聞9月13日より

■選挙権年齢引き下げPT開催(8月27日)

第10回会合は「主権者教育」について。文部科学省と総務省からこの秋に全国の高校生に(370万部)配布する「ガイドブック(政治参加に関する教育のための副教材)」について説明を受け、法案提出者(18歳選挙権年齢公職選挙法改正)側から提案申し入れを行いました。

概要は右図のとおりであり、意見としては、

- ア、模擬投票や模擬議会という実践編に至るためには「民主主義とは何か」という部分を解説編に手厚く
- イ、政党とは何かということも加えるべき。模擬投票は公選法に抵触しないように説明の充実を、

などが出される。

教師指導用テキストはすべてのホームルーム担当教諭及び公民科担当教諭などに20万部配布予定しております。

今回は、「政治的中立性について」議論することになります。

■安保法案等参議院特別委員会強行採決(9月17日)

参議院安全保障の特別委員会は15日に中央公聴会を開催し、16日地方公聴会を開催したあと、特別委員長職権で締めくり統括質疑で決めながら行わず、また、地方公聴会の報告も行わず、審議を打ち切り、17日特別委員会で強行採決され、20日未明に参議院本会議で可決成立しました。

国民の8割が「理解が進まず」6割が「この国会で成立すべきでない」と各種世論調査で表明し、総理大臣の答弁は二転三転、11本の法案ゆえに議論は拡散する一方、さらに領域警備法案を民主党維新の党と共同提出したのは9月4日なのに、審議時間は実質ゼロです。

「私たちが拓く日本の未来」のポイント

生徒向け副教材

【解説編】

- ▶18歳以上ができる選挙運動の例
- ▶選挙別の投票のやり方
- ▶若い世代と他の世代の投票率の比較
- ▶憲法改正国民投票の仕組み

【実践編】

- ▶ディベートで政策論争をするための手順
- ▶実際の選挙に合わせた模擬投票のやり方
- ▶議会への請願書のまとめ方
- ▶議会の法案成立までの審議過程を体験

【参考編】

- ▶ネットで候補者の主張を広めていかなどのQ&A
- ▶教育基本法と公職選挙法の学校の政治的中立性についての規定

教員向け指導書

【解説編】

- ▶選挙管理委員会の職員を招くなど指導方法を例示
- ▶選挙が生活に与える影響の理解など、学習の狙いを説明

【実践編】

- ▶「議論で考えを深める」といった学習方法の説明
- ▶模擬投票の際に生徒に配る資料の例
- ▶「教員が個人的な主義主張を述べるのを避ける」などの注意事項

【その他】

- ▶学校での生徒面接で教員が支持政党をあげるなど禁止行為を列挙
- ▶授業で現実の課題を取り上げる際に「様々な見解を提示する」など留意点を示したQ&A

文部科学省ホームページ <http://www.mext.go.jp/>

審議が深まらず、国民理解が進まなかった最大の問題点(ネック)は「憲法との整合性が取れていない」ことでした。

そのきっかけは6月4日衆議院憲法審査会参考人質疑で、自民党の参考人ですら「憲法違反」と述べた時からです。

また、集团的自衛権行使の唯一の例示として安倍総理が説明で使ってきた「ホルムズ海峡での機雷掃海」も根拠が弱いとして9月14日に取り下げる始末です。

さらに、4月には米艦防護として「日本人を救わなければならない」と説明した総理も9月11日には「日本人が乗っていない時も行使可能」と説明を変えました。

加えて、海外への自衛隊派遣の基準を「時の政権の総合的判断」と曖昧さを残しました。これらも仕切り直しが必要な理由です。

「問答無用の政治」が数の力を背景に跋扈(ばっこ)してしまうきっかけとならぬように、成立後も引き続き安保関連法案の内容について問題点を国会で詰めていくとともに、民主主義の根幹がゆらぐことのないように「報道の自由」「表現の自由」への目配り、「立憲主義」の確認、そして「主権者教育」への充実とともに、対案としての外交安保政策を進めていきます。

重ねて、「安保法案の強行採決は認められない」として政府法案に昨年7月1日の閣議決定を含めて、見直し、やり直しを不断に求めてゆきます。

■羽田空港離発着便ルート

見直し説明会(9月12日~14日)

羽田空港は2020年東京オリンピックまでに離発着回数を増やすため、特に南風時(全体の4割)の着陸ルートの見直しを国土交通省は平成26年からさいたま市も含めた協議会で進めてきましたが、オープンハウス型説明会をこの夏から秋にかけて開催いたしました。

さいたま市では、武蔵浦和サウスピアにて開催を予定しました。

しかし、左図のように「さいたま市から羽田空港に向かう」ことによる騒音などが懸念されており、「15時から19時まで」の飛行制限とありますが、丁寧な説明と各種対策を求めています。

羽田空港への新飛行ルートのイメージ(南風で午後の場合)



東京新聞 9月8日より

民主党埼玉県連主催

2015政経文化の集い「進」

11月9日(月)浦和ロイヤルパインズ
18時より記念講演 19時よりレセプション

記念講演講師 古賀稔彦氏 参加費 20,000円
お申込み・お問合せはたけまさ公一事務所まで



民主党埼玉県第1区地方議員

浅野目 義英



県議・浦和区
昭和33年生まれ
民主党・無所属の会/
文教委員/自然再生・
循環社会対策特別委員

井上 将勝



県議・見沼区
昭和54年生まれ
民主党・無所属の会/
環境農林委員/地方創
生総合戦略・行財政改
革特別委員

神崎 功



市議・緑区
昭和30年生まれ
さいたま市議会元副議長/
民主改革さいたま市議団顧問/
市民生活委員/地下7及び
公益施設整備委員

高野 秀樹



市議・岩槻区
昭和35年生まれ
民主改革さいたま市議団
団長/党埼玉県連副代表/
地下7及び公益施設整備
委員/決算・行政評価委員

三神 尊志



市議・見沼区
昭和55年生まれ
民主改革さいたま市議団
/議会改革推進委員長
/予算委員/まちづくり
委員

小柳 嘉文



市議・浦和区
昭和40年生まれ
民主改革さいたま市議団/
予算委員/保健福祉委員/
オリンピック・パラリンピッ
ク委員

武田 和浩



市議・見沼区
昭和36年生まれ
民主改革さいたま市議団/
見沼田圃将来ビジョン副
委員長/文教委員

岩槻・浦和・緑・見沼区で
たけまさ公一とともに
より良い地域を実現します

たけまさ公一プロフィール

昭和36年(1961年)生まれ、さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科、平成元年松下政経塾卒業
平成11年埼玉県議会議員2期目当選 平成26年12月衆議院議員6期目当選

【内閣】元財務副大臣/元外務副大臣

【衆議院】総務委員会委員、憲法審査会会長代理

【民主党本部】組織委員長、税制調査会顧問 【民主党埼玉県連】代表代行

たけまさ公一事務所

- 浦和事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2階 TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846
- 岩槻事務所 さいたま市岩槻区本町5-5-12 TEL 048-749-6801 FAX 048-749-6802
- 国会事務所 千代田区永田町2-1-2第2議員会館312 TEL 03-3508-7062 FAX 03-3519-7715

皆様のご意見・ご要望をお待ちしております メールアドレス voice@takemasa-k.jp